

韓国文学概論Ⅱ (秋学期・2単位)

しん みよんじく
申 明直

授業内容(主題と到達目標)

「韓国文学概論Ⅰ」と「韓国文学概論Ⅱ」では、韓国文学作品を多様な「ジャンル別」に調べてみる。時期別には、古典作品から現代作品まで扱う。

「韓国文学概論Ⅱ」では、まず、韓国の近代小説の嚆矢と言われている李光洙の小説『無情』を読んでみる。続いて、韓国の伝統文化の中で特に「笑い」の意味に注目した戯曲を土台にして映画化された『王の男』を鑑賞する。この作品を通して、アリストテレスとプラトンの文学論とM.バフチンの「カーニバル論」などを検討する。

韓国の新聞漫画、特に1930年代の漫文漫画のジャンルも調べてみる。植民地時代、朝鮮の首都であった京城のモダンボーイの様子を通して近代化初期の光と影を探る。

最後に、ノーベル文学賞の候補としていつも名前が挙げられている黄皙暎の1980年代の悲劇を描いた小説『懐かしの庭』(上・下)を通して韓国の現代史の一面を考察する。イム・サンス監督により映画化された映画とも比較する。

授 業 計 画

第1回目 : ガイダンス

第2回目～3回目 : 李光洙の小説『無情』を読む(28頁)

第4回目～6回目 : 戯曲を土台にして映画化された『王の男』を鑑賞

第7回目～9回目 : 1930年代の漫文漫画と京城のモダンボーイ

第10回目～13回目 : 黄皙暎の小説『懐かしの庭』(上・下)とイム・サンス監督の映画鑑賞

第14回目～15回目 : まとめ

関 連 す る 科 目

韓国文学概論Ⅰ、韓国現代文学講読Ⅰ・Ⅱ、韓国語聞き取りⅡ、生活韓国語聞き取り

成 績 評 定 の 方 法

発表、レポート、出席、小テスト、定期試験などによって総合的に評価する。

テ キ ス ト

『韓国文学ノート』(申明直 他、白帝社、2008年)

『幻想と絶望～漫文漫画で読み解く日本統治時代の京城』(申明直、東洋経済新報社、2005年)

販 売 所

丸善プラザ

参 考 文 献

- ・『王の男』(キム・テウン、角川書店・文庫版、2006年)
- ・『李光洙<無情>の研究－韓国啓蒙文学の光と影』(波田野節子、白帝社、2009年)
- ・『無情(朝鮮近代文学選集)』(李光洙、平凡社、2005年)
- ・『懐かしの庭』(黄皙暎、岩波書店、2002年)
- ・関連DVDは「図書館AVコーナー」にある。